

## 卒業生紹介



氏名 後藤 瑠香

平成31年3月 土木・建築科 土木コース卒業

大曲中学校出身

勤務先 大仙市役所

配属先 上下水道局 下水道課 計画整備班

### ◇現在、担当している仕事（学んでいること）について教えてください

現在は、採用から五年目となり大仙市役所に入所してから二つ目の課になります。下水道課では、計画整備班に所属しており、主に下水道の工事の発注・監督やお客様の宅地内に設置する公共ます設置工事申請の受付業務を行なっています。行事や連休の前にはマンホールを開けて点検をし、流れの悪い箇所や管に詰まりがあった際には清掃を行い市民の皆さんが快適に生活できるように気を付けています。

### ◇どのような高校時代を過ごされましたか

父が建築系の仕事をしていたこともあり、自分も将来建設関係の職に就きたいと思い、この学校に入学しました。学校生活では実習の授業が楽しかったことがとても記憶に残っています。測量の実習で使い方を学んだレベルやトータルステーションなどの測量機械は仕事でも使用することがあり、身についてよかったです。三年生の課題研究では、コンクリートカヌーを製作し大会に出場しました。カヌーに乗ること自体初めてで、初日は黙って乗っていることすらままならない状態でしたが、メンバーと一緒にたくさん練習して総合準優勝、カヌーガール賞を受賞することができました。大変なこともありましたが、高校生活最大の思い出になりました。

### ◇中学生にメッセージをお願いします

この学校に入学して、初めに土木と建築の違いを教えられました。入学したころは建築に興味があり、コース選択は建築希望でした。土木は少し汚いようなイメージがあり、男性が働いている印象を持っていたからです。その後、工業で学ぶ中で私たちが歩いていた学校までの通学路や当たり前に通っていた橋やトンネルを支えているのが土木の仕事だと知りました。正直、工業に入学するまでは土木の仕事がどんなものか考えることもなかったのですが授業を受ける中で日々の生活の基盤となる道を作る仕事が魅力的に思えました。工業には建設業で働いている女性の先輩がたくさんいることも心強く感じ、土木の道に進むことを決めました。大曲工業高校に入学してよかったと思っています。

まだ進路について深く考える機会はそう多くないと思いますが、私は工業で学び土木の仕事の魅力に気づくことができました。高校生活はその後の人生に大きな影響を与えます。みなさんもぜひ、大曲工業高校で土木を学んでみてください。たくさんの魅力を知ってもらえたら嬉しいです。